

(様式3)

事業所名グループホームのぞみの家

目標達成計画

作成日: 平成 27年 9月 28日

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号		現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23		○思いや意向の把握 介護計画に対するご家族の意向の確認が行われていない方もいた。	受診であったり、家族からの新しい情報を支援経過記録に加筆を行う。家族の意向はケアプランに記載する。	家族や居室担当者を交えたサービス担当者会議を開催する。適切なプラン内容を入居者様、家族に提供し共有する。 入居前の面接時及び新しい介護保険証をお持ち頂くときは意向を伺い、思いに添ってプランを作成する。	3ヶ月
2	24		○これまでの暮らしの把握 日常の会話の中で過去の事を聞くなどこれまでの暮らしの把握に努めているもまだ不十分である。 アセスメントが徹底されていなかった為、アセスメント用紙の見直しとアセスメントの徹底をする	情報収集を継続的に行い、利用後の状態変化や多様な場面に対応をする。 これまでの暮らしを把握しプランの作成やケアに役立てる。	アセスメント用紙の見直しとともに使用するアセスメント用紙について計画作成マニュアルに明記する。また、これまでの生活歴を家族から伺う。本人からも伺うようにする。	3ヶ月
3	26		○チームで作る介護計画とモニタリング 介護計画がみなおされておられない方や、モニタリングが行われていないかたもいた。	職員全体で介護計画の理解と共有、必要時に担当者会議を行う。 3か月に1回モニタリングを確実にし入居者さまを理解する。	居室担当とリーダー、計画作成者で介護計画書実施表にもとづいて3か月に1回モニタリングを行う。	3ヶ月
4	33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 事業所の重度化対応の支援方針について文章化できていない。	契約時にとどまらず介護計画作成の話し合いの際に重度化に向けた話し合いを適宜に行う。	重度化について施設として対応できることを具体的に表記する。 介護計画を作成の際に上記の内容についても話し合える時間を確保する。	2ヶ月
5	4		○今年度6回の運営推進会議の開催が行われていなかった。	運営推進会議時、感染性の病気が流行しても次の月に必ず行う。	感染症の流行時も、落ち着いてきたら必ず翌月行う。	1ヶ月

(様式3)

事業所名グループホームのぞみの家

目標達成計画

作成日: 平成 27年 9月 28日

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号		現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	45		○入浴を楽しむことができる支援 入居者様の意向に関わらず入浴期間に空きがある方がいた。	職員のマニュアルにこだわらず体調の悪い職員の入浴介助日は他の職員がかわる。	入浴期間に空きがでないように職員間で体調の悪い職員が臨機応変にかわれる体制、雰囲気作りを行う。	2ヶ月